

ため池の自然研究会会誌 投稿規定（改定5版）

1. 投稿は本会の会員に限る。ただし、本会が依頼したときはこの限りではない。
2. 原稿の内容は、ため池の自然に関する調査・研究報告・総説（解説）・短報・資料・記事（情報）・意見などとする。原稿の内容を確認し、疑義がある場合や表現が適切でない場合は、修正を求めることがある。また会誌にふさわしくない内容については掲載しない。
 - ・調査および研究報告は調査・研究による学術論文として価値ある結論を含むもの。
 - ・総説（解説）はため池に関する各分野の研究成果を示しながら解説したもの。
 - ・短報は調査・研究として、学術的価値を含むが、断片的あるいは萌芽的な内容であり、刷り上がりが4ページ以内のもの。
 - ・資料はデータそのものに掲載する価値があると判断できるもの、あるいは有益な学術情報に関する報告
 - ・記事は書評や各種イベント・展示会など、ため池に関する各種の情動的な内容。
3. 原稿の作成について
 - (1) PCのデータファイルとして作成する場合
 - ・原稿は横書きとし、原則として Word（一太郎も可）の形式を使用する。文章は「だ・である体」を原則とする。
 - ・書式は、A4 版縦、1 行 44 文字程度 × 44 行。余白は上下 30mm、左右 22mm。これを 2 段組にする。
 - ・句読点は、「。」及び「、」とする。
 - ・学名の欧文フォントは、Times New Roman のイタリック体を原則とする。
 - ・図表は、刷り上がり時に横幅が 8 cm または 16 cm 以内であることを考慮して作成する。
 - ・図（写真含む）はそのまま印刷に回せるように鮮明に仕上げる。図の右上またはファイル名に図の番号と著者名を書くこと。電子媒体で送付する場合は、jpeg 形式（エクセルも可）とすること。図の説明（キャプション）は別紙にして本文の次に入れること。
 - ・表は 1 枚ごとに別ファイルとし、説明は各表の上側につける。1 ページに収まるように表を組むこと。電子媒体で送付する場合は、エクセルまたは jpeg 形式を原則とする。
 - ・提出方法は、ファイルの入った媒体（CD ほか）を提出すること。メールに添付して原稿（10MB 以下）を送ることもできる。
 - ・確認のために、別途、紙に印刷したものを 1 部提出する。あるいは、PDF ファイルを添付する。
 - ・文章だけのファイル、図表のファイル、写真のファイルを別々に提出する。
 - ・原稿は刷り上がりで、10 ページ以下に収めること。超過分がある場合は印刷費を執筆者の実費負担とする。ただし、編集委員会や幹事会の依頼があった場合はこの限りではない。
 - ・引用文献の記載
 - ①引用は著者名と年号を明記する。
例）「杉山（2007）は・・・」、「・・・である（富田ほか、2016）。」
 - ②引用文献は下記の例にならって著者のアルファベット順に配列すること。
 - ・雑誌の場合（雑誌名は決められた略称を用いるか、省略せず書くこと）
 - ・浜島繁隆（2010）：塚ノ杵池（名古屋市の）水草 28 年間の動態，ため池の自然，49：2-3.
 - ・角野康郎（1988）：兵庫県の帰化水草，水草研会報，32：2-4.
 - ・Kondo, S. and Hashimoto, H. (1985): Chironomid midge emergent from aquatic macrophytes in reservoirs. Japanese Journal of Limnology, 46: 50-55.
 - ・単行本の場合
 - ・大沼淳一・土山ふみ（編）（2005）：ため池観察ガイド，169pp.，中日出版社，名古屋.
 - ・単行本・報告書等の一部を引用する場合
 - ・浜島繁隆・土山ふみ・近藤繁生・益田芳樹（編著）（2001）：ため池の自然，pp.7-17，信山社サイテック.
 - ・ウェブサイトからの引用は、著者（編者）、発表年、題名が明記され、PDF ファイル等としてダウンロードできる場合は「引用文献」に含める。新聞記事、報道発表等、これに当てはまらないウェブサイトは本文中で引用する。いずれの場合も、URL と確認年月日を明記する。

(2) 手書きの場合

- ・基本はPCでの作成に準ずる。手書き原稿で投稿する場合は、事務局あるいは編集委員会に事前に相談する。
- ・400字詰め横書き原稿用紙に楷書する。
- ・図は白紙1枚に1図ずつ、そのまま印刷（縮小製版）できるよう鮮明に仕上げる。
- ・図表のタイトルは鉛筆書きとする。挿入文字は、縮尺を考慮して大きさを加減する。
(A4の刷り上がり最大で横160mm、縦210mm、最小で横70mm程度となる希望する図表サイズを鉛筆で記入すること)

(3) その他

- ・記事(情報)、書評、刊行物紹介などについては、自由な形式でメールまたは手書きで編集委員会まで送付する。
 - ・本文のみワープロ、図表や写真は別のファイルまたは手書きという場合も編集委員会に相談する。
4. 初校を著者に送付する。再校以降は編集担当者が行う。
 5. 投稿原稿の採否および掲載の順序、各種の表記方法や体裁等 編集に関することについては、編集委員会・幹事に一任すること。特に希望する点があれば申し出ること。
 6. 執筆者には、執筆原稿を版下状態にしたPDFファイルを進呈する。ただし、別刷りを希望する場合は、執筆者負担によって作成できる(50部以上、50部単位)。希望部数を投稿時に編集委員会に申し出る。
 7. 掲載された報文の著作権は、ため池の自然研究会に帰属する。しかし内容の責任は執筆者にあり、原則として研究会は問い合わせなどには応じない。そのため執筆者の連絡先を明記する。
 8. 公開: 掲載された報文は、発行から5年を経た後、ため池の自然研究会のホームページにて、原則公開される。ただし、著者がホームページでの掲載を望まない場合は申し出る。また、個人情報や希少種の保護の観点から、ホームページ掲載時に一部の情報を修正・削除する場合がある。
 9. 附則: 本規定は、2022年1月1日から施行する。
 10. 原稿送付先: メール journal@tameike.site、郵送は事務局宛

・著者ご本人による編集(レイアウト)を歓迎します。以下の要項に従ってレイアウトして下さい。

- ・A4版縦、1行44文字×44行(2段組の一行文字数は21文字)。余白は上下30mm、左右22mm。
- ・タイトル・著者名・見出し・写真・図・表のキャプションはMSゴシック、本文はMS明朝のフォントを使用。
- ・タイトルは13ポイント、著者名&見出し&本文&著者の所属や住所は10.5ポイント、写真・図・表のキャプションは9ポイント。